

DynaPro NanoStar II

特長

- タッチパネルディスプレイによる簡便操作を実現
- 動的&静的光散乱の同時測定が可能
- 微量使い捨てセルを使用可能
- 高感度測定を実現 ● 広範囲の温度設定 (-10~120℃)
- MALS検出器との接続によるフロー-DLS測定を実現

測定項目

- 粒度分布、分子量、粒子個数濃度、濁度、溶液粘度
- 溶液安定性: コロイド安定性 k_D 、第二ビリアル係数 A_2
- 熱安定性: T_{on} 、 T_m 、 T_{agg}



ゼータ電位・動的光散乱測定器

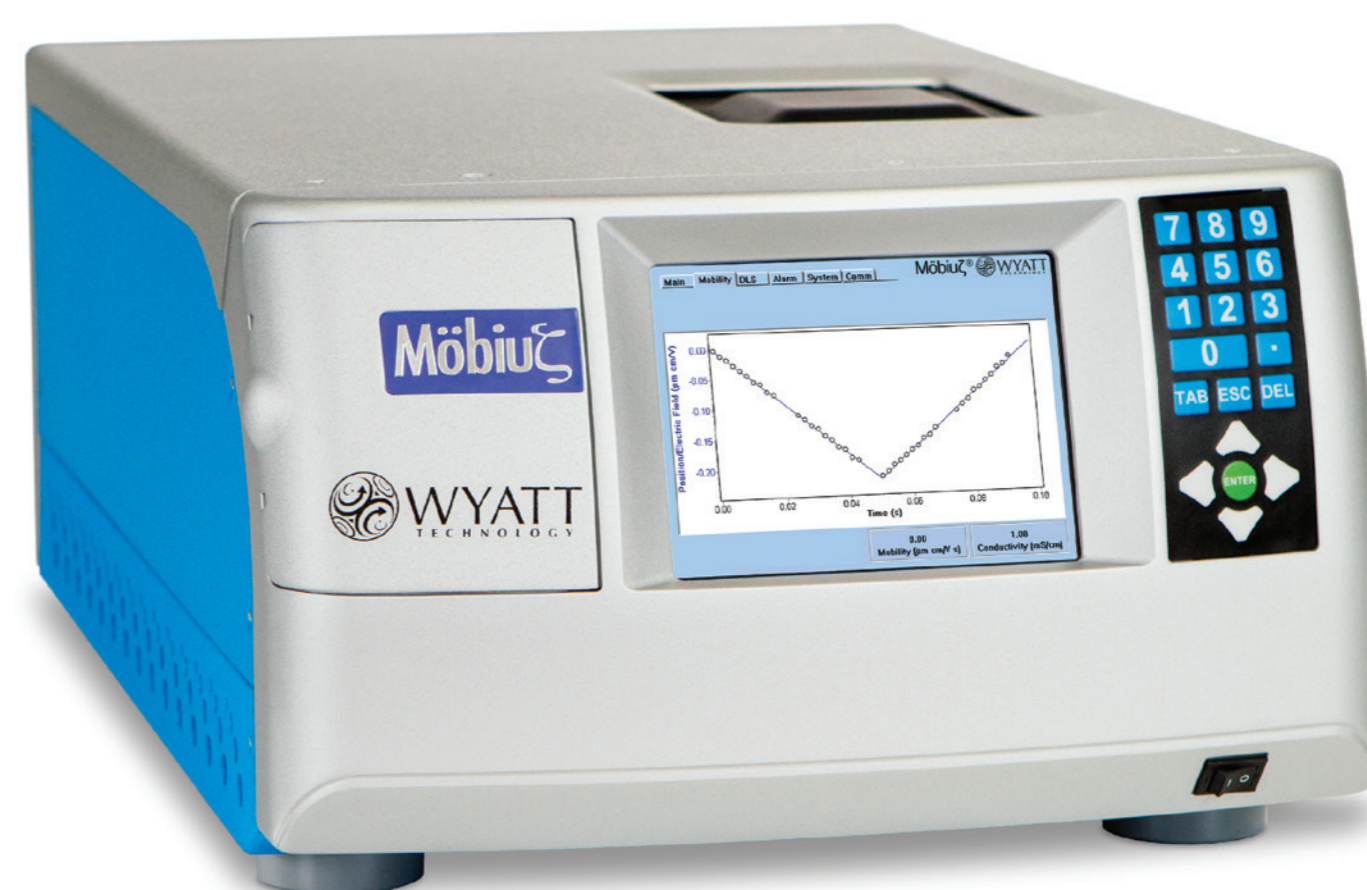
Möbius

特長

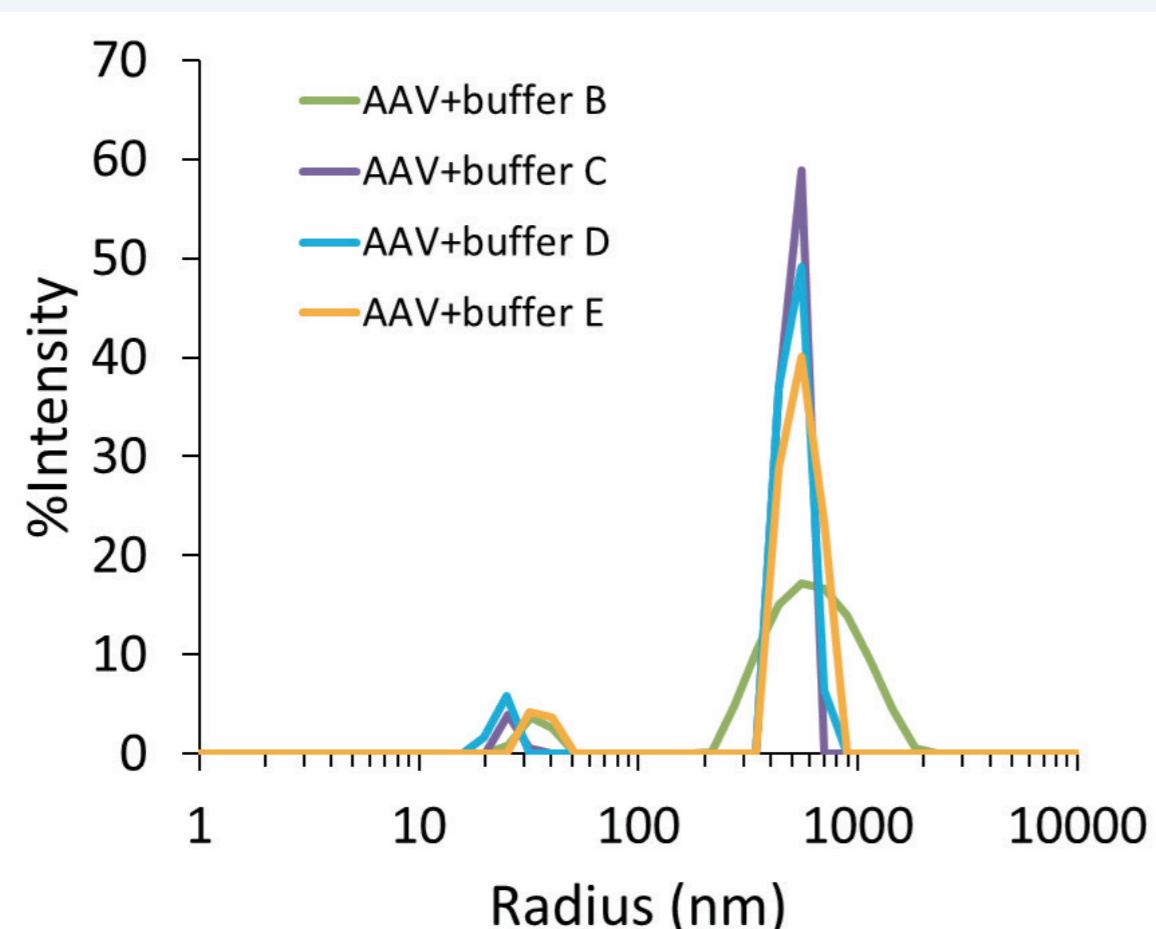
- 粒度分布とゼータ電位の同時測定に対応
- 微量ゼータ電位測定に対応
- 短時間(数秒)、低電圧でのゼータ電位測定に対応
- 高塩濃度条件下でのゼータ電位測定が可能
- オートサンプラーを用いた自動測定に対応可能

測定項目

- 粒度分布、ゼータ電位、粒子個数濃度
- 溶液安定性: コロイド安定性 k_D 、第二ビリアル係数 A_2
- 熱安定性: T_{on} 、 T_m 、 T_{agg}

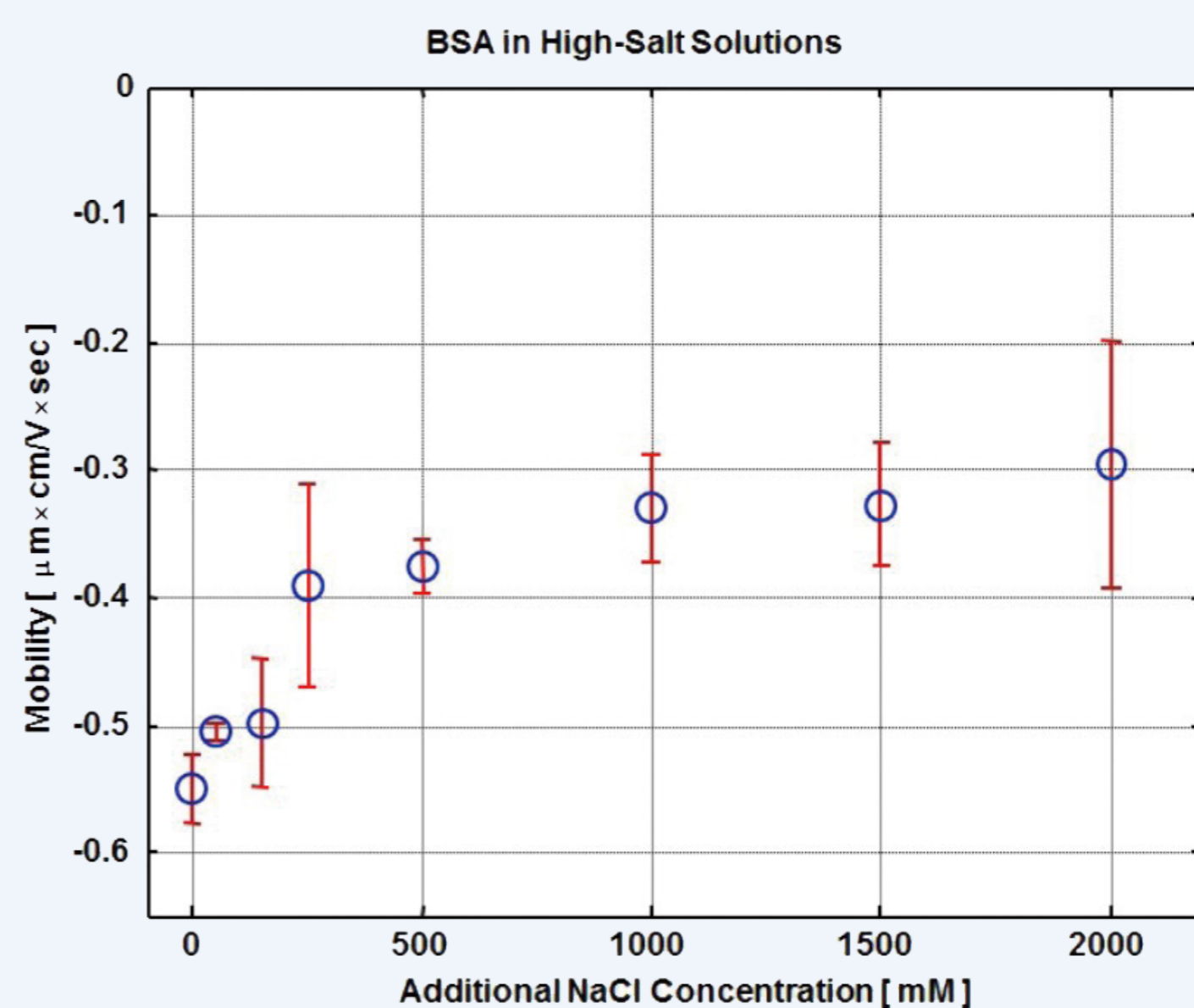


緩衝液の違いによるAAVの安定性



DLS測定は、大きな粒子に対し感度が高く、AAV凝集粒子を高感度検出します。上図は、緩衝液の違いによる光散乱強度基準の粒度分布測定結果です。数百nmの凝集体の存在が確認できます。(凝集体を含まない場合は、数十nmのピークしか検出されません)

高塩濃度溶液条件下でのタンパク質測定



測定困難な高塩濃度溶液中の試料のゼータ電位測定を実現します。